

第 82 回黒船祭タイムスケジュール

※4月30日時点のスケジュールです。変更の可能性がありますので市ホームページ等でご確認ください。
 問合せ先 黒船祭執行会（観光交流課） ☎03913

日にち	時間	行事	場所	雨天時
15日 (土)	10:00-21:00	開国市	各通り商店街	
	10:00-10:30	ペリー艦隊来航記念碑献花式	ペリー上陸記念公園	中止
	11:30-12:00	黒船将兵墓前祭	玉泉寺	
	14:00-15:00	記念式典	下田公園	市民文化会館大ホール
	14:30-14:40	フラワーエンジェルス	市民文化会館駐車場	中止
	14:50-15:10	花みずき会踊り	市民文化会館駐車場	順延
	15:10-15:25	黒船音頭	市民文化会館駐車場	中止
	16:30-18:00	フラホーイケ	まどが浜海遊公園	順延
16日 (日)	20:00-20:20	海上花火大会	下田湾	順延
	10:00-17:00	開国市	各通り商店街	
	10:00-12:00	黒船祭おおぞらコンサート	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	(10:00-11:00)	1部 市内小学生 おおぞら発表会	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	(11:00-12:00)	2部 ミマス ミニコンサート	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	13:50-14:20	T. C. Dance Company	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	14:30-15:30	開国よさこい	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	15:40-16:00	花みずき会踊り（予備日）	市民文化会館駐車場	市民文化会館大ホール
	16:30-18:00	フラホーイケ（予備日）	まどが浜海遊公園	中止
	20:00-20:20	海上花火大会（予備日）	下田湾	中止

その他の行事	
◎黒船祭こどもの日サーフィンスクール 5月5日（多々戸浜）	
◎美術展 5月7日から5月9日（市民文化会館）	
◎ビーチサッカー 5月15日（吉佐美大浜）	
◎黒船祭記念ビーチバレー大会 5月16日（吉佐美大浜）	
◎弓道大会 5月23日（敷根公園スポーツ施設弓道場）	

新型コロナウイルス感染症対策について

健康チェックで安心・安全の泡で包み込む『下田市バブルシステム』

※下田市バブルシステムとは、イベントの開催地を大きな泡で包むように会場を運営し、来訪者同士の接触を極力遮断することで感染拡大を防止する仕組みです。

- ◎来訪者の検温など健康チェック体制を用意します。
- ◎関係機関と協力して感染対策が徹底されているかパトロールをします。
- ◎開国市会場内に仮設手洗い場を設置します。（3か所）
- ◎フィジカルディスタンスの確保ができるよう、状況に応じた混雑回避案内をします。
- ◎新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の利用を広く呼びかけます。
- ◎万が一感染者等が発生した際には、関係機関と連携して対応に取り組みます。

イベント来訪者・従事者全ての方へ

目的会場への入場前に検温などの健康確認を行い、チェックを終えた方に着けていただくリストバンドです。
 1日目・2日目で色を変え、見過ごしがないように対策します。

第 82 回黒船祭についてはコチラ➡

市ホームページ



玉泉寺で執り行われる「黒船将兵墓前祭」

第82回黒船祭

市民による
市民のための

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった黒船祭。今年は市民の皆さまに元氣をお届けするためのイベントとして開催します。それが市民による市民のための黒船祭です。

本来であれば3日間にわたって開催している黒船祭ですが、国内外のコロナ禍の状況を踏まえ、市民の皆さまの安全・安心の確保と伝統・歴史ある黒船祭を伝承するため、今回は規模を縮小し、5月15日（土）・16日（日）の2日間で開催となります。

日米友好の歴史

黒船祭で執り行われる記念式典の会場となる下田公園「開国広場」には、数多くの日米友好の証が残っています。日本から送られた桜がワシントンで今も花咲いていることは有名ですが、アメリカから送られた友好の花「ハナミズキ」もここ下田公園「開国広場」にて花開いています。開国広場に続く坂道には、昭和54年に下田を訪れたカーター大統領の記念碑があり、そこには「ここ下田で」のタートルの後に「日米両国民の友情が初めて根を下ろし花開いた」とあります。また広場の中央には昭和35年第21回黒船祭において祝辞を述べられたマッカーサー二世駐日米国大使の言葉「日米修好の基礎は下田に於いて築かれた」と刻まれた碑があります。

このように私たちの住む下田市は今ある日米の良好な関係の原点であり、その重要性は今後も変わることはありません。開国・日米親善の歴史の軌跡をたどり、改めて自分たちの住む下田という街を感じてみてください。

開国の歴史

1854年ペリー提督率いる艦隊は「鼻黒」と呼ばれる地に上陸しました。現在ペリー提督の胸像が建てられた公園となっています。鼻黒に上陸したペリー提督一行は一路「了仙寺」を目指します。そのとき行進をした道が現在もレトロな雰囲気を残す「ペリーロード」と呼ばれる観光名所となっています。

了仙寺では日米和親条約付録、通称「下田条約」が締結されました。今回は開催されませんが、黒船祭期間中その歴史を現代に語り継ぐため再現劇が公演されています。また、ペリー艦隊来航時、長い航海により命を落とした水兵は柿崎にある「玉泉寺」に埋葬され、長年に渡りご住職により手厚く供養され、年に一度のお墓参りの場として、黒船祭では「黒船将兵墓前祭」が毎年執り行われます。

玉泉寺近くにある「弁天島」は日本の輝かしい明日を夢見て吉田松陰先生が黒船に渡るために海に漕ぎ出した場所であり、今は公園として整備されています。

